

令和元年度（平成31年度）第1回北杜市文化財保護審議会議事録

日 時：令和元年5月8日（水）午前10時～午前11時55分

会 場：北杜市役所 西会議室

「北杜市審議会等の会議の公開に関する要綱」に基づき公開とする。

出席委員：船窪敏文、篠原旭、下條順子、三井光雄、千野恒朗、水原康道、
氏原宏幸、溝口克己各委員

事務局：堀内教育長、中山教育部長、佐野学術課長、村松文化財担当リーダー、
文化財担当渡邊、文化財担当生山、長谷川資料館担当リーダー、
資料館担当小林

進行：佐野課長

1 開 会

2 役員選出

委員の互選により、会長に篠原旭委員、副会長に水原康道委員を選出

3 役員挨拶

4 会議の公開について 傍聴者0人

以下の進行を北杜市文化財保護条例施行規則第44条により、篠原旭会長が務める

5 議 事

1) 教来石民部館跡の指定について（審議）

教来石民部館跡は、北杜市教育委員会より文化財の指定について、諮問されていることに関し、審議。

まず、事務局から教来石民部館跡のこれまでの経緯と発掘調査の結果について資料により説明。

審議の結果、中世の館跡として史料的价值があり、市文化財指定が至当とする意見で集約。明確な反対意見なし。

答申案をとりまとめるため、8月上旬までに第2回文化財保護審議会の開催を計画する。

6 その他

信玄公旗掛松訴訟記録一式および記念碑の文化財指定、浅川巧の日記14冊と伯教画デスマスクスケッチの文化財指定の構想について、事務局から説明。

市指定建造物の水上写真館が老朽化し倒壊の恐れがあるが、所有者と修繕についての協議ができない状況にあり、将来、行政代執行による建物補強、撤去を踏まえて、指定解除を検討する必要があるとの認識について事務局から説明。

また、平成31年度学術課の主要事業と予算について、事務局から説明。

市文化財保護審議会委員研修計画について、11月頃に県立博物館及び県立考古博物館へ視察研修予定の旨、事務局から説明。

7 閉 会